

長崎県B & Wショーで入賞



2月17日、県南家畜市場（雲仙市）で行われた平成26年長崎県乳牛改良同志会主催B & Wショー（乳牛の共進会）で、南有馬町の西田保弘さんが出品した乳牛「ニシダファームT.M.Fアドベントエコー」号が、第6部名誉賞を獲得しました。また、第5部に出品した北有馬町の溝田遥さんの乳牛も優秀賞2席に入賞されました。入賞おめでとうございます。

いつまでもお元気で

～100歳おめでとうございます～



黒岩 ハルヨさん(加津佐町) 大正3年3月7日生まれ



本多 ハツエさん(布津町) 大正3年3月12日生まれ



酒井 常男さん(口之津町) 大正3年3月15日生まれ



ふるさとCM大賞 南島原が優秀賞

3月9日、第9回NCCふるさとCM大賞の最終審査が行われました。ふるさとの魅力をPRする30秒のCMを募り、優秀作品を無料放送（グランプリは100本、ほかに賞に応じて50本、25本）することで地域活性化を図る目的に長崎文化放送株式会社（NCC）が毎年開催。県内各地より応募があった作品のうち、1次審査を通過した13品がこの日の最終審査へと臨みました。審査の結果、本市の作品「みなみしまばらおいしい」が自治体の部優秀賞（自治体1位）の栄誉に輝き、副賞として制作CM50本の放送権利を受け取りました。

目指せ！未来のメジャーリーガー



2月23日、加津佐グラウンドで口加高校野球部OB会主催による、野球教室が開催されました。口加地区に在籍する中学野球部員を対象に行われた本教室に約60人が参加しました。

講師は、三菱重工長崎硬式野球部から4人が参加。その中には、有家町出身の松尾祐也選手も講師役を務めました。今回の教室を受けて、加津佐中の宮崎賢人くんは、「バッティングの調子が悪いので、直すきっかけ作りになった」と話しました。教室を終え、松尾講師は、「一つひとつの基本を何のためにやるのかというのを分からないと上達しない。今、島原半島からは甲子園出場やプロになっている選手たちがいます。彼らの背中を追いかけて、プロ野球選手、そしてメジャーリーガーになってください」とエールを送りました。

Focus in 南島原 まちの話題



過去最多1,721人のランナーエントリー



2月23日、第23回南島原市原城マラソン大会が、国指定史跡、原城跡周辺コースで開催されました。過去最多となった今大会には、東京や埼玉など県内外から1,721人のランナーがエントリーし、早春の原城路を力走しました。中には、くまモンやふなっしーなどのゆるキャラに扮したり、テレビ番組で話題となったあまちゃんに扮したりするなど、仮装で沿道を賑わせながら力走するランナーもいました。

じげもん卓球部に全国大会の切符



2月2日に開催された長崎県中学校卓球競技新人大会で、加津佐中学校男子卓球部が見事、優勝し、九州大会と全国大会出場を決めました。3月10日、選手らは市役所を訪れ、市長に同大会での健闘を誓いました。関係者の話では、強豪校が各地から選手を集めてチーム作りをする中、地元南島原市の生徒のみで勝ち抜いた意義は大きいとのこと。選手たちは5月に熊本県で開催される九州大会、3月に島根県で開催される全国大会に出場します。全国に「じげもん旋風」を吹かせてください。

原城図書館来館者50万人達成



3月3日、原城図書館の来館者が50万人を超えました。50万人目となったのは、有家町の鬼城恵二さん。鬼城さんは「50万人目と聞いてびっくりした。光栄です」と心境を語りました。また「原城図書館は快適で安らぐことができる場所。職員のおもてなしも良いので、毎日のように来ています」と話し、最後に「私にとっ

て本は、好奇心を満たしてくれる大切なものです」と話しました。

原城図書館の川村司書は「たくさんの方が足を運んでくれたことに感謝しています。これからも、皆さんに親しんでもらえる図書館づくりをしていきたいです」と今後の抱負を語りました。



『希望に満ちた学びや』
加津佐小学校開校(4～5)



『有馬キリシタン遺産記念館』へ
行こう！(6～7)



『ひまわりプランⅡ』(13～16)

CONTENTS

まちの話題	2～3
加津佐小学校開校	4～5
有馬キリシタン遺産 記念館へ行こう	6～7
平成26年度 南島原市の当初予算	8～9
南島原にゆーす	10～12
ひまわりプランⅡ	13～16
南島原にゆーす	17～19
くらしの情報	20～21
島原半島世界ジオパーク	22
復興への絆	23
南島原市図書館だより	24
国際交流員コラム	25
消費生活センター	25
保健事業のご案内	26～27
市民カレンダー	28